

■ドスケベダンジョン1.3 vs さぎのん荘 体験版

□
そこは、地下へ続く淫獄——
未だ踏破した者は居ない不落の迷宮。
侵入者は滅多に戻って来られず、
僅かな帰還者はと言えは悍ましい陵辱でも受けたかのように変わり果てる。
待ち受けるのは栄光か、それとも極楽すら垣間見える屈辱か。
忌むべき災厄が潜むその地下迷宮を、世はこう呼ぶ……

——ドスケベダンジョン——

◆
「……ここか、不埒な悪霊が出る洞窟というのは。
呑子さんも後々来るようだが……悪霊は野放しにできん。
ここは先に踏破し、誅魔忍としての実力と面目を立てておくか」

ドスケベダンジョンの前に立つのは、誅魔忍・雨野狭霧。
酒呑童子であり相当の実力者である荒覇吐呑子と共に、このダンジョンを攻略する予定であったが……
呑子は諸々の事情で遅れてしまうようだ。
未知の領域に単身で挑むのは避けたいところ。だが、脅威は早急に排除すべきなのも事実。
誅魔忍としてのプライドと実力を持つ狭霧は、一人で薄闇の中に踏み込む……

●狭霧編

「む……よくわからんが、このダンジョンとやらは最初に挑戦者の能力などが決められるらしいな。
これが難攻不落とされる所以か……？ だが私なら何も問題はあまい。
不埒な項目があるが……私の感度や性欲などたかが知れているし、そもそも弱点などないのだからな！」

□ステータス判定

◆弱点決定 (1D6 : 3)

1→胸 2→尻 3→クリ

4→膣内 5→アナル 6→子宮

◆感度決定 (1D10 : 8)

◆羞恥決定 (1D100 : 53) ……補正中 (羞恥が快感に)

◆性欲決定 (1D100 : 48) ……補正小 (稀にアへる程度)

「ステータスの詳細はわからんが……違和感がないということは、やはり大した変化はなさそうだな。
では、行くか……！」

現在、スタート地点 (地下0F)

- ◆残ライフ：100 ◆合計絶頂数：0
- ◆弱点：クリ ◆感度：8 ◆羞恥：53（羞恥が快感に） ◆性欲：48
- ◆装備：通常 ◆状態異常：ナシ ◆戦績 ナシ

狭霧はいよいよダンジョンの中に進む……

◆地下1Fの部屋は……（1D10：3）

- 1→ 異種姦 2→ 輪姦 3→ 淫具装着&拷問
- 4→ 痴漢姦 5→ 催眠 6→ コスチェン&強制奉仕
- 7→ ダンス 8→ 慰安 9→ エロ装備化&闘技場
- 10→ 肉便器

◆地下1Fは調教部屋だった！

強制的に淫具が装備される！

・淫具（1D6：6）

- 1 バイブ
- 2 三点リング
- 3 コンドーム
- 4 随喜縄緊縛
- 5 ローション
- 6 低周波パッド

「なっ?! 何だこれは、いつの間に——」

ヴィイイイツ♥

「ふ、震えて……んくうっ!」

狭霧は当然、衣服を纏っているはずなのだが……いつの間にか胸と股間には、低周波パッドが張り付いていた！微弱ながら恥部を直接刺激する、振動と電流。不意の、しかし適度な刺激に不思議な感覚を覚えながら、パッドを外そうとする狭霧。だが、ここは拷問部屋。本格的な拷問具が、狭霧の身体を一瞬で捕らえる！

・調教方法（1D6：5）

- 1 ハケ水車
- 2 二穴姦
- 3 全身くすぐり
- 4 電気あんま
- 5 触手ベッド
- 6 洗脳ロデオ

ずゆるっ! じゆるるうっ!

「んなっ——?! 来るな、あああっ!」

突如、部屋の至る箇所から現れたのは肉色の触手。無数に迫るそれらには狭霧の回避も反撃も通じず、

蠢く肉波となって狭霧を覆い、触手で出来た台へと運ぶ。
言わば触手ベッドと呼ぶべきものに乗せられ、全身を触手に撫でられた狭霧が見たのは、壁にある電光掲示板のようなもの。そこには、こう書かれていた。

『触手ベッドニヨル一定時間ノ拷問ヲ開始』『解放ノ条件ニ情報提示ヲ要求』
「……この私を拷問する気か……！」

無機的だが、このダンジョンの生物、あるいはダンジョンそのものに意思めいたものがあるようだ。噂に聞いた習性の通り、目的は『牝』の陵辱。侵入者を辱めつつ、更に情報を引き出し、より徹底的に陵辱特化に進化する狙いだろう。卑劣ながら効率のいい手段——だが、狭霧は捕らえられていながらも恐怖することはなかった。何せ狭霧は雨野流の誅魔忍。拷問に耐える訓練は一通り受けている。たとえどんな苦痛を与えられようと、決して口も心も崩さぬ自信があるのだ。むしろ性拷問ともなれば、相手の欲を逆手に取る房中術——性戯で逆転も狙える。

(戦闘では後れを取ったが……生憎だが、私に一切の拷問は通用せん！
逆に雨野流房術で……この程度の触手、籠絡させてみせる！)

手も足も出ぬ状況でありながら、誅魔忍は不敵に笑い——

『拷問開始』
ヴヴヴヴ♥ ずぞぞぞ♥
「ひっ♥ くひひひひっ♥」

淫具が一斉に動いた瞬間、その不敵の笑みをいびつに吊り上げさせられる。胸と股間をパッドに、それ以外の全身を触手に刺激される。刺激は激しくも繊細であり、触覚を一瞬にして丹念に撫で揉んだ。拷問訓練などで受ける責め苦とはまるで質の異なる、人外がもたらす刺激——優しさすら感じられる加減の全身愛撫に、狭霧はゾクゾクとしたものを感じて堪らず声を上げていた。

(パッドと触手がいきなり……やはり性的な拷問！ だが雨野流の修業を耐えた私なら)
ヴヴヴヴ♥
「んんうう♥♥」
(なっ——い、今のは……！ いや、有り得ん♥♥)

絶妙な刺激、そして淫具や触手が持つとされる能力『淫気』により否応なく感じさせられるのは、ハッキリとした快樂。単調な性感や性交時の苦痛ではない、予想外にも程がある深い官能を頭では否定するものの、既に腰が震えて望まぬ昂揚を覚えていた。パッドがあるため、犯されることはないが……想像を遥かに超える快樂と言う名の苦悶に、早くも理性が揺さぶられそうになる。

(淫気を使った拷問が、こ、これほどとは——♥♥ 口を割れば♥ 逃れられる♥ だが……♥♥)

だがそこは誅魔忍、力で負けても「情報戦」と「忍耐」の点で失態を晒すわけにはいかない。唇を噛み、意思が揺らぐのを繋ぎとめる。だが全身愛撫は淫気を抜きにしても凄まじい刺激量であり、どうしても肉体が疼かされる。ぬるぬるとした触手が首筋を撫で、脇をなぞり、パンストと肌の境目を愛で、そこに淫具が等間隔の刺激が加えれば、女なら受け入れざるを得ない本能的な甘味となる。上はともかく下の口はパクパクと開閉し……刺激が一瞬強くなった時、一気に桃色の波が覆い被さった。

「んむううっ♥♥ んむんんんっ♥♥」

(私は誅魔忍っ♥♥ 忍として♥♥ 拷問にだけは♥♥ 死んでも耐え——♥♥)

ヴヴヴヴヴッ♥ じゅぞぞぞっ♥ プシュッ♥ プシャアアアッ♥

「あ♥♥ あっ♥♥ おっ……おとおとおとおっ♥♥♥」

(そんな……こ、こんなにも容易く♥♥♥ た……♥♥♥ 達して、しまった……♥♥♥ だが……これで♥♥)

じゅるるるっ♥ ヴィィィィィッ♥♥

「おあっ♥♥ あひいいいっ♥♥」

人間として、女として、誅魔忍として恥ずべき拷問中の絶頂——それでも、真の意味で屈したわけではない。安堵を得たはずの狭霧だったが、一度絶頂させただけで肉拷問が終わるはずもなく……

「い、いつまでっ♥♥ おっ♥♥ また♥♥ またああっ♥♥」

・ダメージ値 (1D10 : 7)

ダメ値7 + 感度8 = 15 絶頂

狭霧は低周波パッドと触手ベッドによる拷問で、10を超える絶頂を叩き込まれた……

ライフ100 - 1 = 99

「ま♥♥♥ またイッ♥♥♥」

(情報さえ渡さなければ♥♥ 負けたことには——♥♥)

ヴヴヴヴヴヴッ♥ ぶぢゅるるるっ♥

「イッ♥♥♥ つく♥♥♥ うううううううっ♥♥♥」

びぐんっ♥♥ ブシュアアアアアッ♥♥

「はっ……♥♥♥ はあ……っ♥♥♥」

ようやく『一定時間』が過ぎ、身体が解放される。ダンジョンの仕掛けに耐え抜いたのだ。快樂拷問に屈しなかった証——とはいえ、何度も気をやってしまったのもまた事実。しかも一度に二桁の絶頂は初めてであり、狭霧は腰が抜けたようにその場で震える。更に少々の休息すら待たず、今の拷問の付随効果が与えられる。

- ・状態異常付与 (1D6 : 4)
 - 1 『淫紋』追加 (1D6 :)
 - 2 『強制排卵』……次の中出し時に絶対受精する。
 - 3 『おあずけ』……付与ターン絶頂不可。次の絶頂時に絶頂数倍化。
 - 4 『淫語強化』付与。2ターン後まで淫語度が酷くなる。
 - 5 『賢者タイム』次ターン終了まで絶頂数が10分の1になる。
 - 6 『性欲解放』次ターン終了まで性欲+99

- ・ステータス変動 (1D6 : 1)
 - 1・2 → 感度 (1D100 : 21) $8 + 21 = 29$
 - 3・4 → 羞恥 (1D100 :)
 - 5・6 → 性欲 (1D100 :)

「っ……?♥ なんだ……おまんこが……熱い……っ♥♥」
 (身体が、熱くなったような……♥ やはり淫術の類をかけられたか♥
 手遅れになる前に、急がねば……♥ しかし今、私は……お、おま……などと……?♥
 なぜ、このような言葉を♥♥)
 ヴヅヅ♥
 「あへえええっ♥♥」

今の責めにて、自らの性質に変化がもたらされた。
 だが狭霧はそれに気付くことができぬまま、装着され続けるパッドの微弱な振動で素っ頓狂な喘ぎを漏らすのだった。

- 現在、地下1F
- ◆残ライフ : $100 - 1 = 99$ ◆合計絶頂数 : $0 + 15 = 15$
 - ◆弱点 : クリ ◆感度 : $8 + 21 = 29$ ◆羞恥 : 53 (羞恥が快感に) ◆性欲 : 48
 - ◆装備 : 低周波パッド ◆状態異常 : 『淫語強化』あと2
 - ◆戦績 ナシ

(くそ、このパッド、取れない……っ♥ 妙な淫術といい、やはりこのダンジョンはデタラメすぎる♥
 1F進むだけで、これほどとは……♥ だが、おそらくはあの部屋こそが最大の関門に違いない♥
 あとは最奥まで、駆け抜けるだけだ……っ♥)

- 狭霧は更に地下に進む……
- ◆地下2Fの部屋は…… (1D10 : 3)
 - 1 → 異種姦
 - 2 → 輪姦
 - 3 → 淫具装着&拷問
 - 4 → 痴漢姦
 - 5 → 催眠
 - 6 → コスチェン&強制奉仕
 - 7 → ダンス
 - 8 → 慰安
 - 9 → エロ装備化&闘技場
 - 10 → 肉便器

◆地下2Fは拷問部屋だった!

強制的に淫具が装備される！

・淫具（1D6：6）

- 1 バイブ
- 2 三点リング
- 3 コンドーム
- 4 随喜縄緊縛
- 5 ローション
- 6 低周波パッド

「ま、また同じ部屋……戻ったのか?! いや……」

戻ったのではなく、地下2Fでも1Fと同様のトラップに当たってしまっただけ。
気付き、次は何の淫具を着せられるかと警戒するが……

ヴヴヴヴヴヴッ♥

「んおほおおっ♥♥ 震えが♥♥ 強くううっ♥♥」
(何だ、今の間抜けな喘ぎは——いや、それよりこれは……まさかっ♥♥)

無様な喘ぎより注目すべきは、パッド振動の活発化。
狭霧の予想通り、また「低周波パッド」を引き当てたため、性能が一段階強化されてしまったのだ。
胸と股間を襲う機械愛撫にも、絶頂を堪えたが……

・拷問方法（1D6：4）

- 1 ハケ水車
- 2 二穴姦
- 3 全身くすぐり
- 4 電気あんま
- 5 触手ベッド
- 6 洗脳ロデオ

「しまった、脚がっ♥ こ、今度は何をっ♥」

腰をへこらせて隙だらけのところを機械に拘束される。
両脚を掴まれた状態で仰向けに転がされ——機械の足が、パッド越しに狭霧の股を踏み押さえた。

「まさか♥ やめ——」

ガガガガガガッ♥

「っほ♥♥ おおおおおおおおおおおっ♥♥」

股間を苛める拷問。それは『電気あんま』であった。
パッドで既に十分な振動刺激が与えられている狭霧の陰唇、そして陰核を、
機械の足が優しさと甘さを含んで踏み揺らす。

ぐりぐりっ♥ ぎゅむっ♥ がががががががっ♥
「おまんこ♥♥ あっそこ♥♥ クリっ♥♥ クリがああ——っ♥♥ やめろ♥♥ もうイキそっ♥♥
パッド♥♥ パッドでイキかけてるからっ♥♥」
(イカされる♥♥ 誅魔忍なのに♥♥ また無様におまんこイカされ——♥♥♥)
がががががががっ♥ びくっ♥ びく……………っ♥
「んおっ?!♥♥ お?♥♥ おおおおおおおっ?!♥♥」
(い……イカない? どうして……♥♥)

見戯のようできて、牝の急所を的確に追い詰める責め。
特に敏感な陰核を刺激され、狭霧は絶頂を確信するが——刺激が止まらないにも関わらず、
達することはなかった。
それはこの部屋で与えられた『状態異常』のためである。

- ・状態異常付与 (1D6 : 3)
- 1 『淫紋』追加 (1D6 :)
- 2 『強制排卵』……次の中出し時に絶対受精する。
- 3 『おあずけ』……付与ターン絶頂不可。次の絶頂時に絶頂数倍化。
- 4 『淫語強化』付与。2ターン後まで淫語度が酷くなる。
- 5 『賢者タイム』次ターン終了まで絶頂数が10分の1になる。
- 6 『性欲解放』次ターン終了まで性欲+99

——状態異常『おあずけ』。これにより、狭霧は絶頂を封じられ……

「そ……♥♥ そんな♥♥ これではまるで……」
がががががががががっ♥♥
「んおっほおおおう♥♥ そこはっ♥♥ おまんこはっ♥♥ クリはあああっ♥♥
あああっイツ♥♥ イカ……ないいいいいっ♥♥」
(これは♥♥ まさに寸止め拷問——♥♥)

絶頂寸前で刺激を止めてもどかしさを与える、寸止めの苦悶を味わわされることになる。
ただし、実際の寸止めと違い、こちらは「イケない」だけ……つまり刺激が続いたまま。
本来イクことで快感を消化できるはずなのに、快感がピークに達した状態を留められる。
性欲の緊張を保ち続けなければならない事態に、狭霧は仰け反ってひたすら顎を揺らし、
達するよりも情けない姿を晒してしまう……

「ダメだっイクっ♥♥ おまんこ踏まれっ♥♥ クリっ♥♥ イツ……………っあああああああっ♥♥」
がががががががががっ♥
「いっ♥♥ イケない♥♥ あっ違っ♥♥ イカないっ♥♥ イカないっ♥♥ イカないっ♥♥」
ぐりっ♥ ぎゅむっ♥ ぐちゅううっ♥
「おっほっ♥♥ やっぱりイキたいっ♥♥ イキっ♥♥ イツツ——♥♥」
・ダメージ値 (1D10 : 2)

ダメ値2+感度29=31 ×弱点2=62絶頂

狭霧は低周波パッドを股間に装着した状態での電気あんま拷問により、クリトリスを重点的に責められた！
絶頂62回分もの快感を与えられたが、『おあずけ』状態で絶頂不可能！

ライフ99-0=99

現在、地下2F

◆残ライフ：99 ◆合計絶頂数：15（おあずけ：62）

◆弱点：クリ ◆感度：8+21=29 ◆羞恥：53（羞恥が快感に） ◆性欲：48

◆装備：低周波パッド ◆状態異常：『淫語強化』あと1『おあずけ』……次の絶頂時に絶頂数倍化。

◆戦績 ナシ

「は……っ♥♥ はへっ♥♥ は♥♥ あ……っ♥♥ お……♥♥ 終わっ……っ♥♥」

ヴヴヴヴッ♥

「んふおおおっ♥♥ こいつ♥♥ まだへばりついて♥♥ このっ……と、とれない♥♥

気持ち良……汚らわしい淫具めえ♥♥ 私のおまんこから♥♥ 離れろおお……っ♥♥」

拷問が終わっても低周波パッドは『装備』として残り続けたまま。

狭霧は『おあずけ』されて火照った身体を無機的な運動に悩まされるまま、更に地下に進む……

◆地下3Fの部屋は……（1D10：2）

1→異種姦 2→輪姦 3→淫具装着&拷問

4→痴漢姦 5→催眠 6→コスチェン&強制奉仕

7→ダンス 8→慰安 9→エロ装備化&闘技場

10→肉便器

「地下3階……どんな仕掛けが……ううっ?!」

◆地下3Fは輪姦部屋だった！

そこにいたのは……

・相手（1D106：6）

1→ショタ 2→おっさん 3→チャラ男

4→不良 5→キモオタ 6→老人

・竿数（1D100：90）

女に餓えた、90人もの老人たちであった！

狭霧は入室と同時に囲まれ、美しい美貌を狙われる！

（随分と群れているな……だが、ただの老人であれば、何人来ようと誅魔忍の敵では）

ヴヴヴッ♥

「あへえっ♥♥ おまんこパッド♥♥ 揺さぶるなあっ♥♥」

がしっ♥

「しまっ……ああっ♥♥ 来るな♥♥ 来るなああっ♥♥」

所詮はただの老体、狭霧であれば軽くあしらえる。

……が、それは健全な状態での話。

股間に張り付くパッドに陰部を揉まれれば達さずともアへ晒す今の狭霧に抗える力などなく、
たちまち手足が老人たちに絡め取られる。

ストッキングが破られ、ついにパッドが取られ……

・責め（1D6：）

1→胸・尻 2→乳首・クリ 3→ぶっかけ・三穴

4→肌・寸止め 5→両穴 6→子宮

つつ……っ♥

「んくひいっ♥♥」

剥き出しになった秘部が、また淡い加減で撫でられ、弄られる。

男たちは若い肌に餓えているのか、一思いに犯すのではなく肌や性器表面を味わいだした。

指でつつき、なぞり、舐め……寸止めされた時にも似た緩い責めに、ゾクゾクと神経を火照らせる。

そしてこれ以上ないほど肌の感度が上がった時……老いてなお猛る、

むしろ経験量を感じさせる肉幹が突き立てられる。

つぶっ♥

「やめろ♥♥ そんな老いぼれちんぽ♥♥ 挿れるなああっ♥♥」

ずぶぶぶっ♥♥

「おおうっ♥♥ ちんっつ……ぽおおおおおおお♥♥」

◆バトンタッチ！ 雨野狭霧→荒覇吐呑子

「あら……ここ、いきなり6F？ 噂では、後に来たら仲間の進度を引き継げるって話だけど……

つまり、狭霧ちゃん……ヤラれちゃったのかしら？

んふふ……不謹慎だけど、この淫魔ちゃんたち……とってもえっちみたいねえ♪

でも、悪い子は鬼に食べられちゃうのよお～～♪」

狭霧とは全く異なり、呑子は愉しむ姿勢でダンジョンに臨む。

□ステータス判定

◆弱点決定（1D6：2）

1→胸 2→尻 3→クリ

4→膣内 5→アナル 6→子宮

◆感度決定 (1 D 1 0 : 4)

◆羞恥決定 (1 D 1 0 0 : 6 6) 補正中 (羞恥が快感に)

◆性欲決定 (1 D 1 0 0 : 8 4) 補正中 (淫語使うほど淫乱に)

「弱点……どこかしらあ？ 羞恥以外は高そうだし、気を付けた方がいいのかも……ゾクゾクしちゃうわあ♪」

現在、地下7F

◆残ライフ：100 ◆合計絶頂数：0

◆弱点：尻 ◆感度：4 ◆羞恥：66 (羞恥が快感に) ◆性欲：84 (淫語使うほどの淫乱に)

◆装備：通常 ◆状態異常：ナシ

◆戦績：ナシ

呑子は狭霧の後に続き、地下に進む……

◆地下8Fの部屋は…… (1 D 1 0 : 9)

1→ 異種姦 2→ 輪姦 3→ 淫具装着&拷問

4→ 痴漢姦 5→ 催眠 6→ コスチューン&強制奉仕

7→ ダンス 8→ 慰安 9→ エロ装備化&闘技場

10→ 肉便器

◆地下8Fはエロ装備闘技場だった！

【くノ一の次は……まさかの鬼?! 酒呑童子の乱入一っ！

一体どの衣装で闘うことになるのか？ 装備強制変更！】

「くノ一？ もしかして、狭霧ちゃんをヤツつけたのって……あらあ？」

・装備強制変更 (1 D 6 : 4)

1 ドスケベ水着

2 ハートのシール (ニプレス+前貼り)

3 全裸化+スケスケマント

4 ドスケベ下着

5 触手

6 スライム

・装備変更ターン (1 D 6 : 3) + 1 → 値ターン終了後に初期コスに戻る。

装備変更！

呑子は紐のように布地の小さいスケスケランジェリーを装備させられた！

あと4ターン外せない！

「やあん♪ ちょっとお、いきなりこんな格好？ やあねえ、観客ちゃんたちガン見しすぎよお♪」

(おかしいわ……こんなのいつも着てるのに、ちょっと恥ずかくなってきたかも……♥

狭霧ちゃんもコレ着せられたの？ なら、恥ずかしくて負けても不思議じゃないわね……♡)

いつも露出度の高い服を着ている呑子だが、
不意に際どい下着を着せられ、欲望剥き出しに見られているからか、強い羞恥を覚えてしまう。

【続いてハンデとして状態異常追加とステータス変動！】

・『淫紋』追加 (1D6 : 6) $0 + 6 = 6$

・ステータス変動 (1D6 : 1)

1・2 → 感度 (1D100 : 72) $4 + 72 = 76$

3・4 → 羞恥 (1D100 :)

5・6 → 性欲 (1D100 :)

・更に羞恥増加 (1D100 : 59) $66 + 59 = 125$

羞恥心が100を超えた！ 羞恥快感補正が1段階上昇！ 視姦だけで絶頂できるようになってしまう！

「なによお、状態異常って……」

ずくんっ♡

「んはあんっ♡♡ こ、これ……♡♡ 淫紋じゃない♡♡

何でアタシに淫紋が……しかも、いきなり六段って——っ♡♡」

(やだ、これ、子宮から疼く♡♡ 何だか本当にゾクゾクして♡♡ し、視線で……感じちゃう……っ♡♡)

呑子は強大な妖力により、生半可な術は跳ね除けられるのだが、
このダンジョンはそういった耐性を無視して、最悪の呪い『淫紋』を付加させる。
卑猥に展開した淫紋の付与、性欲と羞恥快感の増加。
それらは鬼と言えど危機感を覚えるレベルの呪い。
——だからこそ生まれるスリルに、呑子は恐怖を上回る期待感を抱いてしまう。

「は……♡♡ はああ……っ♡♡」

【早くも震えているぞ、ドスケベ下着視姦でイキそうなのか？ そんな淫乱妖怪の対戦相手はこちら——！】

「いいわ……やってあげようじゃなあ♡♡ 誰でも……来なさあ♡♡」

(戦う前からこんな無様な姿晒すのなんて、流石に初めてだわ♡♡ なのに♡♡ 熱くなって仕方ないのおっ♡♡)

・闘技場の相手は…… (1D6 : 4)

1 → リョナマシン 2 → オーク 3 → 淫魔

4 → 触手 5 → おっさん 6 → レスラー

「定番、ね……♡♡」

現れるのは触手魔。男性器そのものの器官をいくつも持つ、まさに陵辱特化の異形。
定番とされるものが現れ、何をされるのか想像してゴクリと生唾を呑み込む。

(今なら……絶対苦戦しちゃう♡♡ こんな下級魔相手に……ああダメ、想像して、また……っ♡♡)

疼きに震える中、試合が開始。
まずは間合いを測るため、一步踏み込むのだが……
その際に乳首以外のほぼ全てを晒す爆乳が どぶるんっ♥ と揺れれば、
一斉にシャッターの掃射に襲われる。

カシャカシャッ♥ びくんっ♥ ぶるうんっ♥

「ああん♥♥ ダメよお、戦ってる時に視線で撫でたりしちゃあっ♥♥」

ずぞぞっ♥ じゅるるっ♥

「んひゃああああん♥♥ ドスケベ下着おっぱい♥♥ 触手に絡め取られちゃううううっ♥♥」

普段から破廉恥姿に慣れている呑子も、今や羞恥心だけで火照る牝肉。
フラッシュ視姦に内股で戦慄き、愛液を垂らして発情が隠せない。
そこを触手に狙われ、自慢の膂力も振るえずにあっさりと捕まってしまう。

「あはあん♥♥ ソッコーでおちんぼ擦り付けられてるう♥♥

騎乗位でハメられちゃうのね♥♥ でもお……っ♥♥」

こうも性欲に忠実な身体にされれば、もうまともな戦闘では勝てない。
狙うはバトルファック……性戯勝負での逆転。
呑子は狭霧のこともダンジョン攻略のことも忘れ、
触手との犯し合いに意識を集中させていた。
敗北を期待する「応援」に、艶めかしい笑みで皮肉を返し……

「呑子お姉さんのすごいところ♥♥ よおく視ておきなさい♥♥ ほおら、挿れるわよお〜?♥♥」

(見られて……撮られてイクなんて、私に限ってそんなこと♥♥ こんな下級触手魔なんて♥♥ 一瞬で♥♥)

ずぶぶ……っ♥

「んあ♥♥ あ……♥♥」

(ハメ撮りなんかで♥♥♥ 触手なんかでイッたり……♥♥)

ずっぽおおっ♥

「んふおおおおおおおおお♥♥♥ ハメ撮りおちんぼイックううおおおおおおお♥♥♥」

(ウソおお♥♥♥ き……気持ち良すぎるうう……♥♥♥)